



砂煙を上げ 駆け抜ける

9/28 第46回安曇野観光草競馬大会

秋の風物詩として親しまれている安曇野観光草競馬大会が9月28日、穂高牧の市営牧運動場で開催されました。爽やかな秋晴れの空の下、1周400メートルのコースを競走馬や農耕馬、ポニーなどが競い合い、観客席からは大きな声援が送られていました。

また、会場には子ども向けに乗馬体験コーナーなども用意され、母親と訪れた小林竜也くん（三郷小倉）はポニーにまたがり「お馬さんがかわいい」と嬉しそうに話していました。



敬老の日 長寿を祝う

9/18 市内最高齢者などに祝い品伝達

高齢者の長寿を祝うため、市では9月18日、市内で男女の最高齢者となった嶋崎巖さん（明科東川手・104歳）と望月志げみさん（穂高・104歳）を宮澤市長が訪問し、祝い品を手渡しました。絵画鑑賞やひ孫の成長が楽しみという望月さんは「歌うこととおいしいものを食べること」と長寿の秘訣を話してくれました。

このほか本年度88歳を迎える男女594人と、100歳を迎える男女30人にも祝い品を贈り、長寿を祝いました。

校庭に子どもたちの歓声が響く

9/20 市内小学校運動会

市内各小学校で9月20日、運動会が行われました。このうち穂高有明の穂高北小学校（児童792人）では、かけっこや綱引きが行われました。また、同日豊科南穂高の豊科北小学校（児童559人）では、全学年参加による大玉送りや、各学年代表によるリレーが行われました。

各学校ではクラスの仲間や、家族からの声援を受け、子どもたちは、元気いっぱいに競技をしていました。



豊科北小（写真右・左下）、穂高北小（写真左上）



開館5周年の節目

9/6・7 図書館フェスタ

図書館フェスタが9月6日から2日間、穂高交流学習センター「みらい」で行われ、コンサートや講演会、講座、お話会など多彩な催しに多くの市民が訪れました。

6日には、図書館フェスタに合わせて「みらい」の開館5周年記念式典が多目的交流ホールで行われました。式典では、図書館川柳入賞者の表彰式や中央図書館長の任命式が行われ、市がホームタウンとなっているサッカーJ2松本山雅のオフィシャルマスコット・ガンズくんに望月教育長から任命書とたすきが手渡されました。

親子で「こどもとしょかん」を利用する浅川由美さん（穂高）は「本を借りる以外にもいろいろ楽しめる場所がいいですね」と話してくれました。

このほか、7日には童話作家の角野栄子さんの講演会なども開催されました。



やさしい光が会場を照らす

9/7 安曇野まほらランタン

子どもたちの幸せを願いランタンに火をともす催し「灯火にねがいを」（安曇野まほらランタン主催）が9月7日、豊科近代美術館で開催されました。

この日、用意された717個の紙袋製のランタンは市内保育園児が絵を描き制作したものの。来場者の手により一つひとつ火がともされていくランタンは、優しい光を放って会場を包み込みました。母親と会場を訪れた佐藤はなちゃん（明科中川手）は「ランタンづくりは時間がかかって大変だった」とうれしそうにランタンの明かりを見つめていました。



家庭に眠る食器を再生

9/28 不用食器の回収

使われなくなった陶磁器製の食器を再資源化する「不用食器の回収」が9月28日、穂高プール駐車場で行われました。この催しは市民で構成する市不用食器リサイクル実行委員会と市の協働事業として行われ、市は回収後の食器の処分等を行います。当日は約600人が食器を持って訪れ、委員の皆さんが忙しく再利用できる食器を選別し大きな回収袋に入れていました。実行委員長の桜井洋子さん（三郷明盛）は「今後も取り組みを続け、無駄になる資源が少しでも減っていけばいいですね」と話しました。この日回収した食器は岐阜県に運ばれ、陶磁器の原料として再利用されます。